

学校沿革の概要	
昭和 39 年 4 月	猪苗代中学校・千里中学校・翁島中学校の 3 校を統合し、猪苗代中学校として開校。旧校舎で校務を開始。校章・校旗を制定
昭和 40 年 1 月	校歌制定
昭和 40 年 3 月	新校舎第一期工事落成
昭和 40 年 11 月	新校舎落成式
昭和 45 年 5 月	全国植樹祭に全校生徒が合唱隊として参加
昭和 45 年 8 月	プール完成
昭和 48 年 11 月	創立 10 周年記念式典・野口英世博士胸像建立
昭和 49 年 2 月	第 29 回国民体育大会スキー競技大会開会式場となる
昭和 57 年 2 月	全国中学校スキー競技大会開催
昭和 58 年 11 月	創立 20 周年記念式典
平成 5 年 11 月	創立 30 周年記念式典、同窓会名簿発刊
平成 10 年 10 月	教育用コンピューター 40 台導入
平成 13 年 3 月	校舎全面バリアフリー化工事完了
平成 15 年 11 月	創立 40 周年記念式典、青雲の広場完成
平成 23 年 6 月	東日本大震災による校門・体育館渡り廊下補修工事完了
平成 25 年 10 月	創立 50 周年記念式典・記念樹植樹

猪苗代町立猪苗代中学校



所在地 猪苗代町大字千代田字中島 5 番地の 1



猪苗代中学校校歌

作詞 天野 多津雄
作曲 岡山 直

そそりたつ磐梯山の
氷雪のあらしにたえて
青雲の 理想をいだし
正しく直く日日のびゆかん
たくまじきかたばみかざし
意気高く感激こめて
たたえよ猪苗代中学校

黄金波ひろがる彼方
鏡なす猪苗代湖に
うつり澄む 偉人のおもかげ
まぶたにえがき日日いそしまん
たくまじきかたばみかざし
意気高く感激こめて
たたえよ猪苗代中学校

Interview

みんなで協力したい



猪苗代中学校 生徒会長
遠藤陽加里さん

コロナ禍で学校の外での思い出が作れなかったのは残念ですが、旧校舎にはたくさんの思い出があります。新校舎は暖かく、快適な環境で過ごせるのでうれしいです。3校が統合し、もしかしたら意見がすれ違うこともあるかもしれませんが、みんなで協力してより良い学校をつくっていききたいです。



猪苗代中学校 後援会長
安達利一さん

充実した教育環境を

私が中学生の頃は 1 学年に 5～6 クラスあり、結構な人数がいました。勉強よりも友人と遊んだことが思い出されます。これまでたくさんの人の努力があって今の猪苗代中があり、感謝しています。統合後も充実した教育環境を子どもたちに提供していきたいです。引き続き皆さんの温かいご支援をお願いします。

※本インタビューにおける役職などは令和 4 年 3 月現在

中学校閉校式

ありがとう いつまでも忘れない
猪苗代、東、吾妻の 3 中学校の統合に伴い、各中学校で閉校式が行われました。



東中学校閉校記念碑の除幕を執り行う関係者

町内 3 中学校の閉校式は 3 月 11 日、猪苗代、東、吾妻の各中学校で行われました。

猪苗代中学校は昭和 39 年に創立。スキー部をはじめとした部活動でも輝かしい成績を残し、これまでに 9 6 3 0 人の卒業生を送り出しました。

昭和 33 年に創立した東中学校は、観音寺川の美しい桜並木を望む場所にあり、5 4 2 5 人の卒業生を輩出しました。

豊かな自然に囲まれた吾妻中学校は昭和 55 年に創立。これまでに 1 3 6 0 人の卒業生が巣立ちました。

3 校の閉校式のうち東中学校では、閉校式に先立ち閉校記念碑の除幕式が行われました。引き続き行われた閉校式では、津金光彦校長が「64 年にわたって築き上げられ、受け継がれてきた本校の教育理念や精神、そして輝かしい伝統は、皆さんの心に残り、いつまでも語り継がれていくと信じています」と式辞。生徒を代表して生徒会長の柳沼わか那さんが「たくさんの方たちの学びのよりどころとなってきた東中学校に感謝します」とあいさつを述べました。

4 月からは統合した猪苗代中学校の新校舎で、未来を拓く生徒たちが夢と希望を抱きながら、新たな歴史を刻んでいきます。

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Apr.2022
4
No.738



【撮影日】 3 月 11 日
【撮影場所】 東中学校

今月の表紙

東中学校卒業式で卒業証書を授与される佐藤栄彦さんです。【関連 6～7 ページ】

Contents — 【目次】

- 02 中学校閉校式
- 06 写真特集 卒業・卒園
- 08 令和 4 年度予算
- 10 まちのわだい
- 11 ホットニュース／地域おこし協力隊通信
- 12 いなわしろタウンページ
- 20 令和 4 年度狂犬病予防注射のお知らせ
- 22 暮らしの情報広場
- 24 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー

学校沿革の概要	
昭和 55 年 4 月	吾妻第一中学校・吾妻第二中学校・市沢中学校を統合し、吾妻中学校が創立。校章制定・校旗樹立
昭和 55 年 11 月	校歌制定
昭和 60 年 5 月	記念植樹（オオヤマザクラ 2 本）
昭和 60 年 6 月	裏庭花壇造成
平成 2 年 11 月	屋外トイレ設置
平成 9 年 11 月	学校プール完成
平成 16 年 1 月	県中体連スキー大会完全優勝
平成 17 年 1 月	県中体連スキー大会二連覇達成
平成 18 年 1 月	県中体連スキー大会男女総合準優勝
平成 19 年 1 月	県中体連スキー大会男女総合準優勝
平成 20 年 4 月	あづま学級設置
平成 20 年 10 月	校舎西側・体育館西側街灯設置
平成 21 年 11 月	創立 30 周年記念式典
平成 24 年 11 月	校地内除染作業
令和元年 11 月	創立 40 周年記念文化祭
令和 2 年 6 月	体育館屋根補修工事

猪苗代町立吾妻中学校



所在地 猪苗代町大字蚕養字下平乙 613 番地の 53

吾妻中学校校歌

作詞 高橋 新二
作曲 伊東 英直

山いくつ寄り合つて 大をなし
谷の水睦みいき 湖となる
秋元は紺碧に 燦めけは
猪苗代ひろびろと 銀の波

吾妻中学 光あれ

時し春花と花 夢誘い
はつらつと希望呼ぶ 友と友
やがて秋豊なる 実時
飛ぶ鴨に天がけて 意気高し

吾妻中学 誇あれ

青春の泉湧く 吾妻郷
あこがれの虹ぞ立つ 大磐梯
花嵐月雪を 打ちこえて
たくましく落葉松の 道すすむ

吾妻中学 栄あれ



学校沿革の概要	
昭和 33 年 4 月	長瀬中学校・月輪中学校を統合し、東中学校が創立
昭和 33 年 7 月	校歌制定・校旗樹立
昭和 45 年 8 月	プール完成
昭和 56 年	校歌碑建立。前庭噴水に「柊の石」設置。自転車置き場新設
昭和 58 年 9 月	文部省指定道徳教育共同研究推進校発表会
昭和 62 年 12 月	創立 30 周年記念碑建立
平成 11 年 9 月	新校舎建築工事起工
平成 12 年 10 月	新校舎落成式
平成 13 年 12 月	新体育館引き渡し
平成 14 年 11 月	新校舎・新体育館竣工記念碑除幕式
平成 16 年 2 月	北会津地区教職員研究物展特選
平成 16 年 8 月	県中教研研究物展優良賞
平成 20 年 10 月	学校評議員制度創設
平成 20 年 11 月	校庭土手アルミ缶文字設置、創立 50 周年記念事業
平成 24 年 4 月～ 平成 27 年 3 月	福島県教育委員会指定英語指導力向上事業
平成 30 年 4 月	ひいらぎ学級（特別支援学級）新設

猪苗代町立東中学校



所在地 猪苗代町大字川桁字上川原 2262 番地の 75

東中学校校歌

作詞 田中 末広
作曲 小山 章三

光あふるる朝空に
磐梯山の影さえて
仰げば心躍りつつ
声高らかにいざや歌わん
希望に強く生い立つわれら

そよ風わたる紺青の
猪苗代湖のすがしさに
窓も明るく学びつつ
真理の道をきょうも窮めん
理想に燃えて勤しむわれら

桜並木の幾春を
長瀬川原の若草と
夢美しく育ちつつ
清き未来を共に作らん
力合せて伸びゆくわれら

幸あれつねに東中学校



Interview

吾妻中の誇りを胸に



吾妻中学校 前生徒会長
松本 レイ さん
(令和 3 年度卒業生)

閉校への思いを寄せた記念誌を作成したほか、遠足や文化祭など全校生でたくさんの思い出を作ってきました。吾妻中学校での思い出は、私たちのかけがえのない宝物です。これからは、吾妻中学校出身という誇りを胸に前進していきたいです。そして、お世話になった吾妻地区の人たちにいつか恩返しをしたいです。

一日一日を大切に



吾妻中学校 P T A 会長
佐藤剛太郎 さん
ごう た ろ う

私の中学校時代の思い出は、サッカー部で一生懸命部活に取り組んだことです。当時は全校生徒数もたくさんいて、先輩や後輩たちと充実した学校生活を送りました。中学校では人生の核になるような時期を過ごします。統合中学校になっても一日一日を大切にみんなで競い合って学んでほしいです。

Interview

新しい仲間と共に



東中学校 生徒会長
柳沼わかな さん

東中学校にはたくさんの良さがあります。特に、東中生のあいさつの質の高さは日本一で、どの中学校にも負けない私たちが誇る伝統の一つです。このような素晴らしい伝統を統合中学校にも引き継いでいきたいです。そして新しい仲間たちと一緒に、より良い中学校づくりに努めていこうと思います。



東中学校 後援会長
渡部 栄昭 さん
ひであき

新たな歴史を刻んで

東中学校の輝かしい伝統と精神が刻まれた素晴らしい記念碑が完成しました。東中学校 64 年の歴史にピリオドを打つことは寂しい限りですが、新たなスタートでもあると思います。次代を担う若い人たちには、東中学校の「ひいらぎの精神」を新しい学校につなぎ、新たな歴史を刻んでほしいです。